



# 会津果樹情報 7月号

☆梅雨の季節です☆

☆病害虫防除は降雨前に実施してください！☆



令和5年7月6日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部  
(TEL 0242-29-5307)

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

## 1 気象概況及び予報

会津若松市の令和5年6月の平均気温は21.5℃（平年比+1.1℃）で、降水量は95.5mm（平年比+2.3mm）と平年並みで推移しました。

東北地方の1か月予報（7/1～7/30）によると、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。降水量と日照時間は平年並みの見込みです。

## 2 生育状況（7/1現在、会津若松市）

暦日で比較すると、果実肥大は平年並み～やや大きく推移しています（表1）。

また、4月10日、25日に凍霜害が発生しました。摘果の際は樹勢のバランスをとるとともに、収量の確保に努めてください。

表1 各樹種の果実肥大状況（7月1日調査、暦日比較、平年は1986～2022年の平均）

樹種	リンゴ		カキ		モモ	
品種	ふじ		会津身不知		あかつき	
調査地点	会津若松市 北会津町		会津若松市 門田町		会津若松市 神指町	
分類	縦径	横径	縦径	横径	縦径	側径
果実径 (mm)	38	46	20	24	52	54
平年比 (%)	92	108	115	122	102	111

## 3 今後の栽培管理

### (1) 樹種共通

#### ア 草刈り・マルチ

草生園においては樹と草との水分競合を防ぐため、草刈りを行いましょう。

また、刈り草や稲わらのマルチを行い、土壌水分の保持に努めましよう。※地表面からの蒸発散量は、刈り草をマルチした場合、草刈りしない場合の約半分となります。

#### イ かん水

1回のかん水は25～30mm 程度（10a当たり25～30t）を目安とし、5～7日間隔で実施ましよう。保水性が劣る砂質土壌などでは、1回のかん水量を少なくして、かん水間隔を短くましよう。

### (2) リンゴ

#### ア 仕上げ摘果

リンゴ（ふじ）では花芽分化期にあります。仕上げ摘果が遅れると養分の競合から翌年に充実した花芽を確保できない恐れがありますので、速やかに行いましよう。

### イ リンゴ褐斑病（図1）

今年、新梢葉における発生が平年より多くなっています！特に、昨年多発した園地で発生が多くみられます。

### ウ リンゴ褐斑病（図1）

梅雨明け後はハダニ類の多発に注意が必要です。降雨前の薬剤散布に努めましょう。



図1 リンゴ褐斑病  
(20230615 撮影)

## (3) カキ

### ア 仕上げ摘果

今年、一部の園地で生理落果が多く発生しています。生理落果が終了する7月中旬頃から、小果、傷果、奇形果等を中心に摘果を実施しましょう。

### イ 新梢管理

凍霜害により着果不足の園地では、新梢の発生が多くなります。7～9月にかけて3回程度に分けて新梢管理を実施してください（一度にせん除すると枝の二次伸長を招く恐れがあるので注意してください）。

### ウ 落葉病

昨年発生した園地では今年も多発が予想されます。

梅雨の時期は、防除暦に基づき10日間隔での薬剤防除を徹底しましょう。

## (4) モモ

### ア 修正摘果

今年、モモ「あかつき」は6月15日頃に硬核期が終了したとみられますので順次、修正摘果を実施しましょう。肥大不良果や変形果、果面からヤニが噴出している果実等は、順次摘果しましょう。一度にたくさん摘果すると、核割れや縫合面の割裂を助長する恐れがあるので、複数回に分けて丁寧に実施しましょう。

### イ 収穫前管理

調査園における「あかつき」の平年の収穫開始日は、8月2日です。今年は満開日が早まり、気温が高く推移することから、平年より早まることが予想されます。園地を良く観察し、収穫が遅れないよう注意しましょう。また、着色管理のため、収穫予定日の10日前頃に反射シートを設置しましょう。

### ウ せん孔細菌病

降雨により感染が拡大しやすくなります。被害枝・葉・果実は見つけ次第速やかに除去して適切に処分してください。

## (5) ブドウ（シャインマスカット）

### ア 摘房

果実品質を向上させるため、最終的に新梢5本に4房まで摘房しましょう。

### イ 摘粒

ジベレリン処理を実施したブドウは、果粒が密着して肥大し裂果することがありますので、必ず摘粒を実施します。摘粒はさみを使用して、傷のある果粒（サビ果・傷

果)、肥大の悪い果粒（小粒果）、形の悪い果粒（変形果）、穂軸に対して内側を向いている果粒（内向果）などを取り除きましょう。

#### ウ 袋掛け・カサ掛け

摘粒が終了したら、病虫害やかすり症を予防するため**袋掛け**を行います。なお、例年日焼けが発生する場合は、カサを併用しましょう。（図2）



図2 袋・カサ掛け

#### エ 晩腐病（図3）

昨年、発生が多い園地では、今年も多発が予想されます。7月中旬までの間、防除暦に基づき10日間隔での薬剤防除を徹底しましょう。



図3 晩腐病の罹病果  
（2022 8/25 撮影）

---

○近年、農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○降雨により脚立が滑りやすくなります。  
せんで脚立を使用する際は、下の5つの  
ポイントを抑えて安全対策をお願いします！

- （1）設置時に**トントン**と脚を踏み込む
- （2）**天板**に乗らない
- （3）**開脚防止チェーン**をかける
- （4）昇降時に**物を持たない工夫**
- （5）脚立から**身を乗り出さない**



○会津若松市でクマの目撃が相次いでいます。朝夕、1人で園地に行かないようにしましょう！

---